



H18. 1.13 1175  
静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行=指導部 漁政課  
URL:<http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

**謹賀新年** 今年も宜しく願い申し上げます。

### 1. 平成18年度水産予算案まとまる 2,635億2,400万円 前年度比96.2%

平成18年度予算案が12月22日決定し、水産予算は非公共916億100万円(99.0%)、公共1,719億2,300万円(94.8%)で、一般会計合計は2,635億2,400万円(前年比96.2%)となりました。

水産構造改革関係としては漁業改革で、大臣折衝で復活した大型クラゲの発生原因などを調査する対策と省エネ技術の導入、衛星を使った漁場探索効率化などの燃油高騰対策に13億2,300万円計上されました。国際化に対応したノリ養殖業の体質強化には、旧型設備の廃棄などに6億8,000万円、大型自動乾燥機や高性能刈り取り船の導入に交付金を付け、ノリ養殖高度化促進モデル事業などを実施します。

このほか、漁協の体質強化のための認定漁協資金融通円滑化事業に9,000万円、新規就業者の確保・育成支援事業に2億円を計上したほか、漁業共済の基盤強化事業は復活折衝で12億5,000万円が確保されました。

安全・安心対策としては消費安全局などとも連携し、新規事業として水産物品質管理対策推進支援事業1億2,200万円などを確保しました。

水産資源の適切な保存・管理とつくり育てる漁業の推進のほか、藻場資源調査に1億5,000万円を計上したほか、沖ノ鳥島のサンゴ調査費に3億円が計上されました。

漁港・漁場・漁村の総合整備などによる水産業漁村の活性化では、多面的機能の発揮・支援に従来の離島交付金が17億2,500万円確保されるとともに、新規の機能を調査するための環境生態系保全活動調査7,000万円も計上されました。また、公共事業の受益者負担を見直せる、複数事業主体による漁場整備も交付金の対象となりました。

### 2. 漁業就労者の減少、高齢化を食い止める新規就業者確保・育成支援事業に2億円

水産庁は、深刻かつ進行が加速する漁業就労者の減少、高齢化を食い止めるため、少しでも多くの新規就労者を漁業に定着させることを目的に、2億円の予算を投じて18年度「新規就業者・育成支援事業」を新規に実施します。

漁業における就業者の減少、高齢化は、自営漁業経営体の8割に後継者がいない状態までに陥っており、水産業全体の生産構造が危うくなっています。一方で、就職先としての漁業はほかの職業と大きく異なる性質をもっていたり、地域の特性があったりするなど、安定して定着するまでには多くの障害があることも否めません。

このため「新規就業者確保・育成支援事業」では漁業への就業を希望する都市部の若者に、漁業の生産現場で漁業の実態や漁村の生活を長期に体験し、新規就業に必要な経験を得られる研修を行うなどします。

事業では漁船漁業などの雇用型漁業、沿岸漁業などの着業型漁業において、これらの

**安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう**

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

特性にあわせて研究プログラムを作成し、漁業に必要な関係法令、漁具・漁法、漁船の仕組みなどに関する座学の研修を8日間、漁労技術の習得や漁労機械の取り扱いの学習、漁獲物の処理など、実際に操業して研修を実施します。

### 3. 「フォーマルパールフェア」開催のお知らせ

本会資材課では、全漁連及び愛媛県漁連の協力を得て、本年も来る2月3日(金)~2月5日(日)の3日間、静岡中央ビル(県水産会館)5階大会議室において、「フォーマルパールフェア」を開催いたします。

会場には、日本有数の真珠生産地である愛媛県宇和島産の選りすぐった真珠製品の展示・販売をはじめ、賢いパールを選び方教室や真珠生産の歴史パネル展のほか、2006年「輝け!真珠の似合う女性(ひと)たち」をイメージするキャンペーンレディ、ミズ・オンドアール(パールレディ)も2月3日に来場する予定になっています。また、二宮三己(ジュエリーデザイナー)Collectionも同時開催しますので、是非お誘い合わせのうえ、多数ご来場くださいますようご案内いたします。

開場時間: 午前10時~午後7時(最終日は午後5時)

問合せ先: 本会資材課 TEL: 054-252-5155

### 4. 第40回水産加工技術セミナー開催のお知らせ

県では、新技術の開発・導入による新製品の開発、消費者志向に基づく品質の高度化・安全性の確保あるいは廃棄物の有効利用などを推進するため、第40回水産加工技術セミナーを来る1月27日(金)13:00から県水産試験場において開催しますので、多数ご参加くださるようご案内します。

講演1: 「水産試験場研究員による研究報告」水産試験場研究員5名による報告

講演2: 「水産加工における新商品開発について」講師 栗原技術士事務所 栗原道彦氏

講演3: 「水産加工にあるべき塩の状態 - NaClは塩化ナトリウムであって食塩ではない - 」講師 FLI食と生活情報センター 八藤 眞氏

参加申込期限: 平成18年1月25日(水) 定員80名になり次第締切る(参加費無料)

申込・問合せ先: 県水産試験場加工水質研究室

TEL: 054-627-1815又は1818 FAX: 054-629-7350又は627-3038

HPアドレス: <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

### 5. 諸会議・日程(1月17日(火)~1月30日(月))

- 既報分省略 -

1月17日(火) 県漁船保険組合=理事会 (県水産会館)

1月18日(水)~19日(木) 県漁港漁場協会=漁港漁場漁村現地研修会 (東京)

1月19日(木) 燃油対策検討会実行委員会=第2回委員会 (県水産会館)

1月20日(金) 県漁業振興基金=理事会 ( " )

" 県棒受網鯖釣漁業組合=監査会・理事会 ( " )

1月24日(火) 県漁連=理事会 ( " )

" 県信漁連=理事会 ( " )

" 水産会館内団体役員合同新年懇談会 (ホテルアソシア静岡)

1月25日(水) 県密漁防止対策協議会=密漁防止研修会 (仁科浜漁協)

**漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう**